

洋服の3Dファッションソフト テクノアが販売強化

業務用ソフトウェア開発のテクノア(岐阜市本荘中ノ町、大道等社長)は、洋服の3D(3次元)ファッションソフトウェア「i-Designer(デザイナー)シリーズ」の販売を強化する。展示会への出展回数を増やし、12月までに2014年2月期の3倍となる6回出展する。認知度を高め、来年2月までに50〜60社の新規顧客確保を目指す。

(鈴木隆宏)

展示会に積極出展へ

2日に開幕するWEBコンテンツの展示会「プロダクションEXPO東京」への出展を皮切りに、9日からの販売促進ツールの展示会「販促EXPO」、23日からのファッション関連の展示会「ファッションビジネス・ソリューション・フェア2014」と連続出展する。いずれも会場は東京ビッグサイト(東京都江東区)。ファッ

ションだけでなく、異なる分野の展示会に出展し、幅広い分野の顧客を開拓する。同ソフトは、型紙データやボディデータを元にシミュレーションをして洋服の3Dの形状を計算したり、作成した洋服のコーディネート画像を表示したりする。00年に専門学校など教育機関や研究機関向けに発売し、これまでに158校、8研究機関に納入実績がある。

企業向けは、昨年6月に大手アパレル企業のオンワード樫山に採用されたのを機に販売を開始。これまでにメーカーなど約20社への販売実績がある。

洋服のコーディネートと3D画像で表示して確認できる「デザイナーシリーズ」



¥

\$

い。このため展示会への露出を高めて潜在顧客に訴求する。